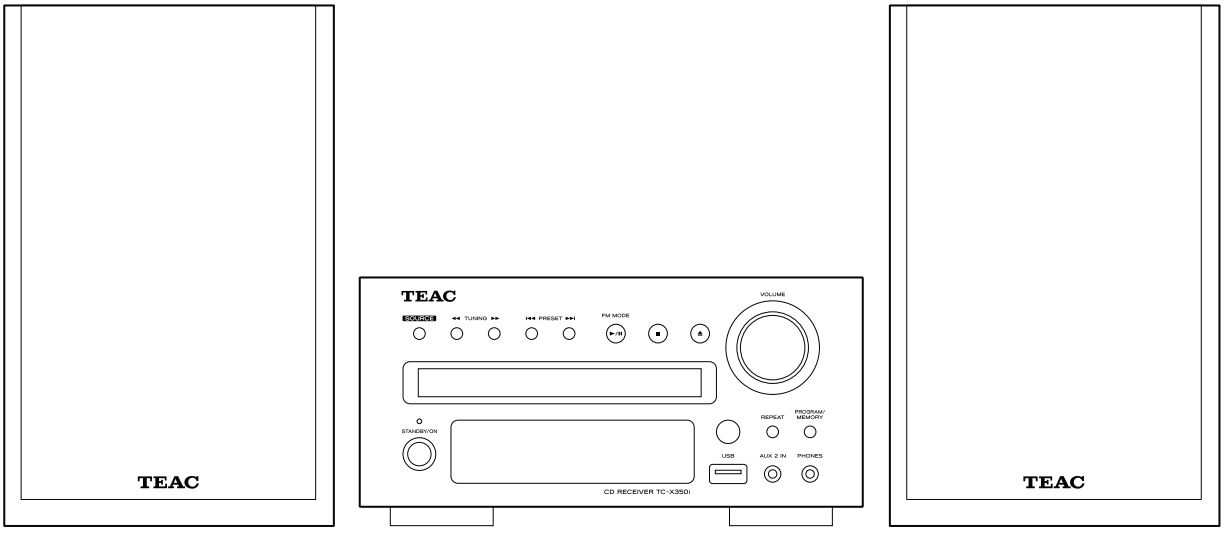
P41011855-A103

TEAC

取扱説明書

TC-X350i

CD レシーバー



ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

Made for iPod

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

目　次

安全にお使いいただくために 3

お使いになる前に 6
ディスクについて 7
リモコンの使い方 9
iPodを使うには 9
USB機器について 10
MP3/WMAについて 10

各部の名前とはたらき（本体） 11
各部の名前とはたらき（リモコン） 12
接　続 14
時刻あわせ 16

基本操作 17

iPodを聴く 19
ディスクを聴く 21
USBメモリーを聴く 22

CDまたはUSBメモリーを再生するには 23
CD/USBの情報表示 24
CD/USB リピート/シャッフル再生 25
CD/USBのプログラム再生 26

ラジオを聴く 27
放送局のプリセット 28

接続した機器の音を聴く 29

お休みタイマー 29
目覚ましタイマー 30

困ったときは 31
仕　様 32

保証とアフターサービス(よくお読みください) 33
保 証 書 34

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

iPod and iPod classic are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
"Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with iPod may affect wireless performance.

Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告 **以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年１回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く **通電状態の放置やお手入は、漏電や感電の原因となることがあります。**
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 注意	乾電池に関する注意
禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意	電池に関する注意
強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 向きを間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

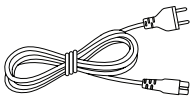
愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

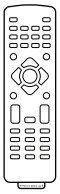
付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

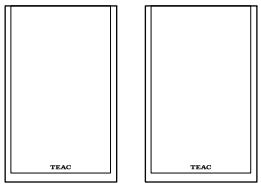
AC　パワーコード×1



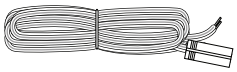
リモコン(RC-1281)×1
（リモコン用コイン型リチウム電池(CR2025)×1　付き）



スピーカー　×2

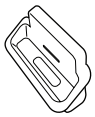


スピーカーケーブル　×2

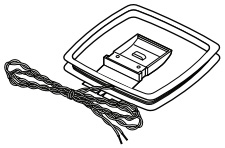


iPod ドッグ　×1

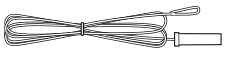
ドックアダプタ　×2



AMループアンテナ ×1



FMアンテナ×1



取扱説明書(保証書付き)×1

使用上の注意

- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ディスクについて (1)

本機で再生できるディスク

「Compact Disc Digital Audio（コンパクト ディスク デジタル オーディオ）」ロゴマークのあるCD(12cm/8cm)

- ロゴマークは、ディスクレーベルやパッケージに表示してあります。

音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。
または、MP3またはWMAファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。

本機は上記のディスクをアダプターなしで再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。

- 以下のディスクは本機で読込み、再生ができません。
  ビデオCD
  CD-ROM
  スーパーオーディオCD
  DVDビデオ
  DVDオーディオ
  DVD-ROM

⚠ **DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-ROMなどをディスクトレーに入れると、ディスクを読み込もうとして高速回転します。万が一これらのディスクを入れてしまった場合は、ディスクを傷つけるおそれがありますので、必ず回転が終わってから取り出してください。(「READING」の表示中には取り出さないでください)**

- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽用CDフォーマット(CD-DA)とMP3またはWMAフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクを再生するときは、忘れずにファイナライズしてください。

- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

使用上の注意

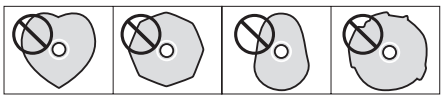
- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。

- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

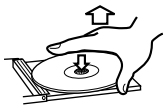
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



ディスクについて (2)

ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。信号記録面を手で触らないようにご注意ください。



取り出し方

持ち方

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

お手入れ

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

リモコンの使い方

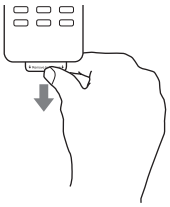
使用上の注意

⚠ 電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。

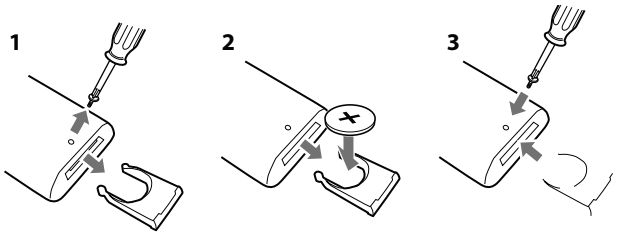
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

お使いになる前に

本機をお買い上げ時には、リモコン用コイン形リチウム電池（C2025）がリモコンに入った状態で同梱されています。リモコンをご使用になる場合は、電池ホルダーに差し込まれている絶縁シートを引き抜いてください。



電池の入れ方



1. ネジを取り外してから、電池ホルダーを引き出します。

2.「＋」の面を外側にして、コイン型リチウム電池(CR2025)
をセットします。

3. 電池ホルダーを差し込みしてから、ネジを締めて固定します。

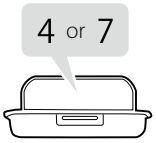
電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

iPodを使うには

ドックアダプター

1. お使いのiPodに合ったドックアダプタを選ぶ。

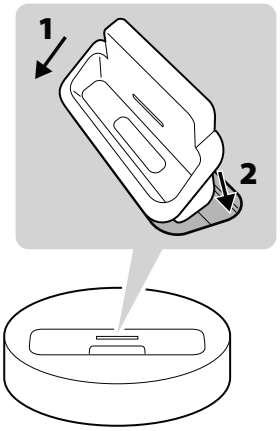


No.4 : 20 GB + U2
iPod with click wheel 20 GB,
iPod with click wheel U2 Special Edition 20 GB,
iPod with color display 20/30 GB,
iPod with color display U2 Special Edition 20 GB,
iPod with video 30 GB,
iPod with video U2 Special Edition 30 GB,
iPod Classic 80/120 GB, 160GB (2009)

No.7 : 60GB(color) + Photo 40/60 GB
iPod with click wheel 40 GB,
iPod with color display (iPod photo) 40/60 GB,
iPod with color display 60 GB,
iPod with video 60/80 GB,
iPod Classic 160 GB (2007)

- ドックコネクタとタッチホイールを装備したiPodを本機のドックに接続する場合は、市販のアダプタをお使いください。
その他のiPodについては、iPodに付属のアダプタまたは市販のアダプタをお使いください。

2. ドックアダプタを本機のドックに取り付ける。
ドックアダプターの前面を取付用の穴に合わせて差し込み、アダプターの後方を「カチッ」と音がするまで押し込みます。



- ドックアダプターを外す場合は、左右をつかみ、ゆっくりと引き抜いてください。

iPod 用ソフトウェアについて

お使いのiPodが本機の操作ボタンで正常に動作しない場合、最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

下記アップル社のサイトから最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

http://www.apple.com/jp/downloads/

USB機器について

⚠ 注 意
USBメモリーのアクセス中には、絶対に本機の電源をスタンバイに切り換えたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。本機やUSBメモリーの故障の原因になります。

本機で使用できるUSB機器

- 本機は、USB マスストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSB マスストレージクラスであるかは、直接USB 機器の発売元にお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやCD/DVD ドライブなどは使用できません。
  USBメモリーをお使いください。
  ※ 本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。
- 使用可能フォーマットは、FAT16とFAT32です。
- 本機で対応できる最大フォルダー数は300です。
- 本機で対応できる最大ファイル数は650です。

注 意

- セキュリティ機能等の特殊機能がある機器は使わないでください。
- 2つ以上の区画に分かれている機器は使わないでください。
- USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- 本機では、USB メモリー内のファイルを削除したり、移動することはできません。
- NTFS、HFS、HFS+ 形式でフォーマットされたUSBメモリーは使用できません。
- 機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

MP3/WMAについて

本機はUSB メモリーに記録されたMP3/WMA ファイルを再生することができます。

再生可能オーディオファイルフォーマット

MP3 (拡張子「.mp3」)
ビットレート：32kbps ～ 256kbps
サンプリング周波数：
44.1、48 kHz

WMA (拡張子「.wma」)
ビットレート：192kbps以下
サンプリング周波数：
44.1 kHz

- VBR(可変ビットレート)のファイルについては対応していません。 USBメモリーをお使いください。
- 2GB以上のファイルは再生できません。
- DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。

ファイル情報の表示について

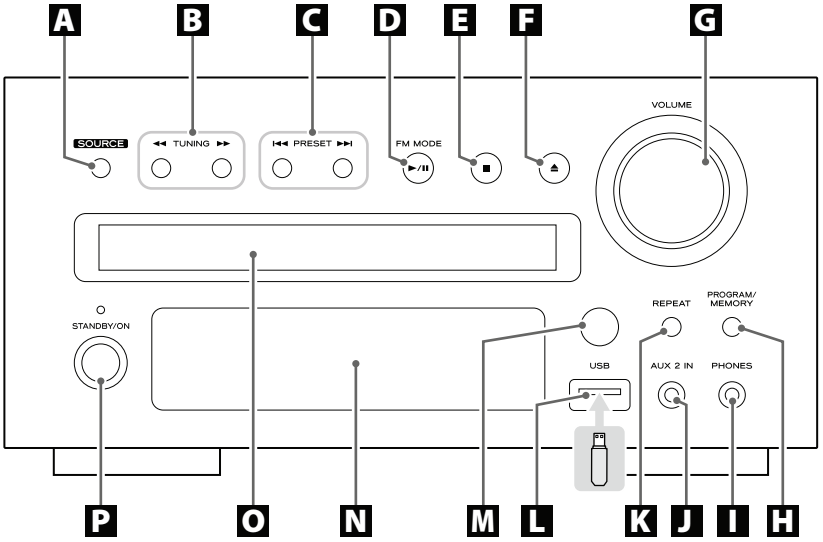
本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。

- ファイル情報に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は出来ますがディスプレーに正しく表示できません。

パソコンを使って MP3/WMAファイルを作成する際の注意

- ファイル名には必ず拡張子を付けてください。拡張子のないファイルは認識できません。
- 本機で対応できる最大ファイル数は650曲、最大フォルダー数は300です。最大数を超えて記録されている場合は正しく再生できません。
- ファイルを作成する際には、使用するソフトウェアのマニュアルをよくお読みください。

各部の名前とはたらき（本体）



A ソースボタン [SOURC]

ソースを切り換えます。

B サーチ/選局ボタン [(◄◄/►►) / TUNING]

ソースがFM RADIOまたはAM RADIOのとき、選局に使います。

ソースがiPodのとき、iPodのメニューのスクロールをします。iPodのクリックホイールと同じ機能です。

ソースはCDまたはUSBのとき、曲またはファイルのサーチができます。

C スキップ/プリセット [(I◄◄/►►I) / PRESET]

ソースがFM RADIOまたはAM RADIOのときプリセットした放送局を選びます。

ソースがiPod、CDまたはUSBのとき、前または次のトラック/ファイル/曲にスキップします。

ソースがiPodのとき、押し続けると、曲をサーチします。

D 再生/一時停止ボタン [(►/❚❚)/FM MOOE]

ソースがiPod、CDまたはUSBのとき、再生を開始/一時停止します。

ソースがFM RADIOのとき、ステレオとモノラルを切り換えます。

E 停止ボタン [■]

ソースがCDまたはUSBのとき、再生を停止します。

ソースがFM RADIOまたはAMRADIOのとき、自動プリセット (オートスキャン) を行ないます。

F 開閉ボタン [▲]

ディスクトレーを開閉します。

G 音量ボタン [VOLUME]

ノブをまわし、音量を調整します。

H プログラム/メモリーボタン [PROGRAM/MEMORY]

ソースがFM RADIOまたはAM RADIOのとき、現在の放送局をプリセットに登録します。（28ページ）

ソースがCDまたはUSBのとき、プログラム（曲/ファイル）再生に使います。

I ヘッドフォンジャック [PHONES]

ヘッドフォンをつなぎます。

曲を聴くときには、音量を最小にしてから、ヘッドフォンのプラグをPHONESジャックに接続し、VOLUMEノブを使って音量を調整してください。

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音がでません。

⚠ 聴覚の損傷を防ぐため

- ヘッドフォンを装着したまま抜き差ししたり、本機をオンまたはオフにしないでください。非常に大きな音がヘッドフォンから出ることがあります。
- ヘッドフォンは、ジャックに差し込むまで装着しないでください。

J 音声入力端子 [AUX 2 IN]

携帯型オーディオプレーヤーとの接続ができます。

L USB端子

USBメモリーとの接続に使います。

M リモコン受光部

リモコン使用時には、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

N ディスプレー

O ディスクトレー

P 電源ボタン [STANDBY/ON]

電源のオン/スタンバイを切り換えま

- インジケータが青色に点灯しているとき、本体の電源がオンになっています。
- インジケータが赤色に点灯しているとき、本体の電源がスタンバイになっています。

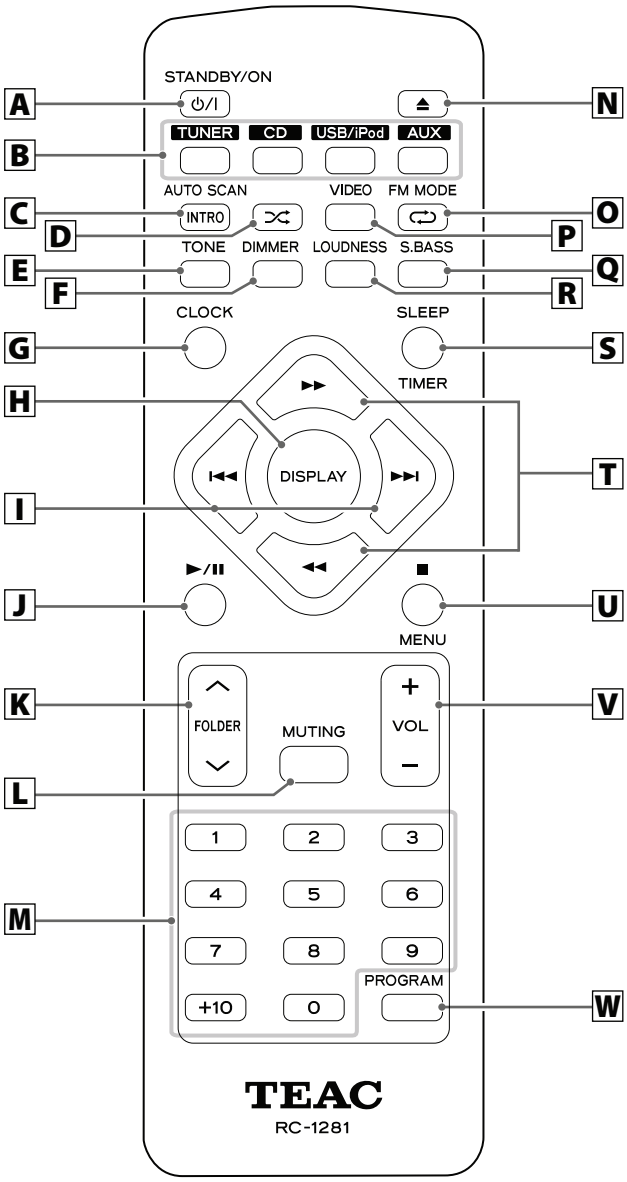
iPodをドックに接続していないときに、本体の電源をオフにした場合

➜ SYSTEM ECO POWER がディスプレーに数秒間表示され、その後電源がスタンバイ (オフ) になります。

iPodをドックに接続しているときに、本体の電源をオフにした場合

➜ 時計がディスプレーに表示され、このときiPodを充電します。iPodをはずして、15分以内にボタン操作しないときは、本体の電源がスタンバイ (オフ) になります。

各部の名前とはたらき（リモコン）



A 電源ボタン [STANDBY/ON (⏻/I)]

電源のオン/スタンバイを切り換えます。

- インジケータが青色に点灯しているとき、本体の電源がオンになっています。
- インジケータが赤色に点灯しているとき、本体の電源がスタンバイになっています。

iPodをドックに接続していないときに、本体の電源をオフにした場合

➡ SYSTEM ECO POWER がディスプレーに数秒間表示され、その後電源がスタンバイ (オフ) になります。

iPodをドックに接続しているときに、本体の電源をオフにした場合

➡ 時計がディスプレーに表示され、このときiPodを充電します。iPodをはずして、15分以内にボタン操作しないときは、本体の電源がスタンバイ (オフ) になります。

B ソースボタン [TUNER, CD, USB/iPod and AUX]

ソースを切り換えます。

C オートスキャン/イントロボタン [AUTO SCAN/INTO]

ソースがFM RADIOまたはAM RADIOのとき、自動プリセット（オートスキャン）を行ないます。
ソースがCDまたはUSBのとき、各トラック/ファイルの先頭を次々と再生します。

D シャッフルボタン(⤮)

ソースがiPod、CDまたはUSBのとき、シャッフル機能の設定に使います。

E 音調ボタン（TONE)

低音、高音の調整をするときはこのボタンを押してVOLUMEノブ/ボタンで調整します。

F ディマーボタン [DIMMER]

ディスプレーの明るさを暗くします。

G 時計ボタン [CLOCK]

このボタンを押すと数秒間、現在の時刻を表示します。
本体が電源オフのとき、時計の設定に使います。(16ページ)

H ディスプレーボタン[DISPLAY]

ソースがiPodのとき、選択したiPod メニューを確定します。
ソースがCDまたはUSBのとき、トラック/ファイルの情報を表示します。

I スキップ/プリセット [(⏮/⏭)/PRESET]

ソースがFM RADIOまたはAM RADIOのとき、プリセットされた局を選びます。
ソースがiPod、CDまたはUSBのとき、トラック/ファイル/曲をスキップします。
ソースがiPodのとき、押し続けると現在の曲でサーチします。

J 再生/一時停止 [(►/❚❚)
ソースがiPod、CDまたはUSBのとき、再生を開始/一時停止します。

K フォルダー [FOLDER]
フォルダーの選択に使います。 (MP3/WMA ディスクとUSBメモリーのときのみ)

L 消音ボタン（MUTING）
一時的に音を消します。

M 数字ボタン
ソースがCDまたはUSBのとき、トラック/ファイルの選択に使います。

N 開閉ボタン [▲]
ディスクトレーを開閉します。

O ステレオモード/リピートボタン（FM MODE/）
ソースがFM RADIOのとき、ステレオまたはモノラルを切り換えます。
ソースがiPod、CDまたはUSBのとき、リピート再生に使います。

P 映像ボタン（VIDEO）
ソースが「iPod」のとき、このボタンを使ってTVとの接続された映像出力の設置をオンまたはオフにします。
(14、15ページ**C**)

Q 低音ボタン（S.BASS）
低音の音を強調するのに使います。

R ラウドネスボタン（LOUDNESS）
小さい音量のとき、聴きづらくなる低音と高音を補うために使います。

S スリープ/タイマーボタン（SLEEP/TIMER）
本体の電源がオンのとき、スリープタイマーの設定に使います。（29ページ）
本体の電源がオフのとき、目覚ましタイマーの設定に使います。

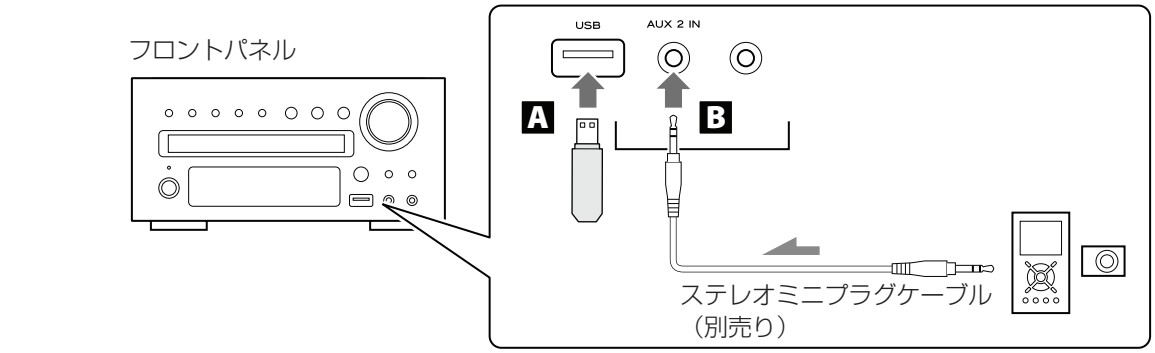
T サーチ/選曲 [(◄◄/►►) / TUNING]
ソースがFM RADIOまたはAM RADIOのとき、プリセットした放送局を選びます。
ソースがiPod、CDまたはUSBのとき、前または次のトラック/ファイル/曲にスキップします。
ソースはiPodのとき、押し続けると、選曲中のサーチに使います。

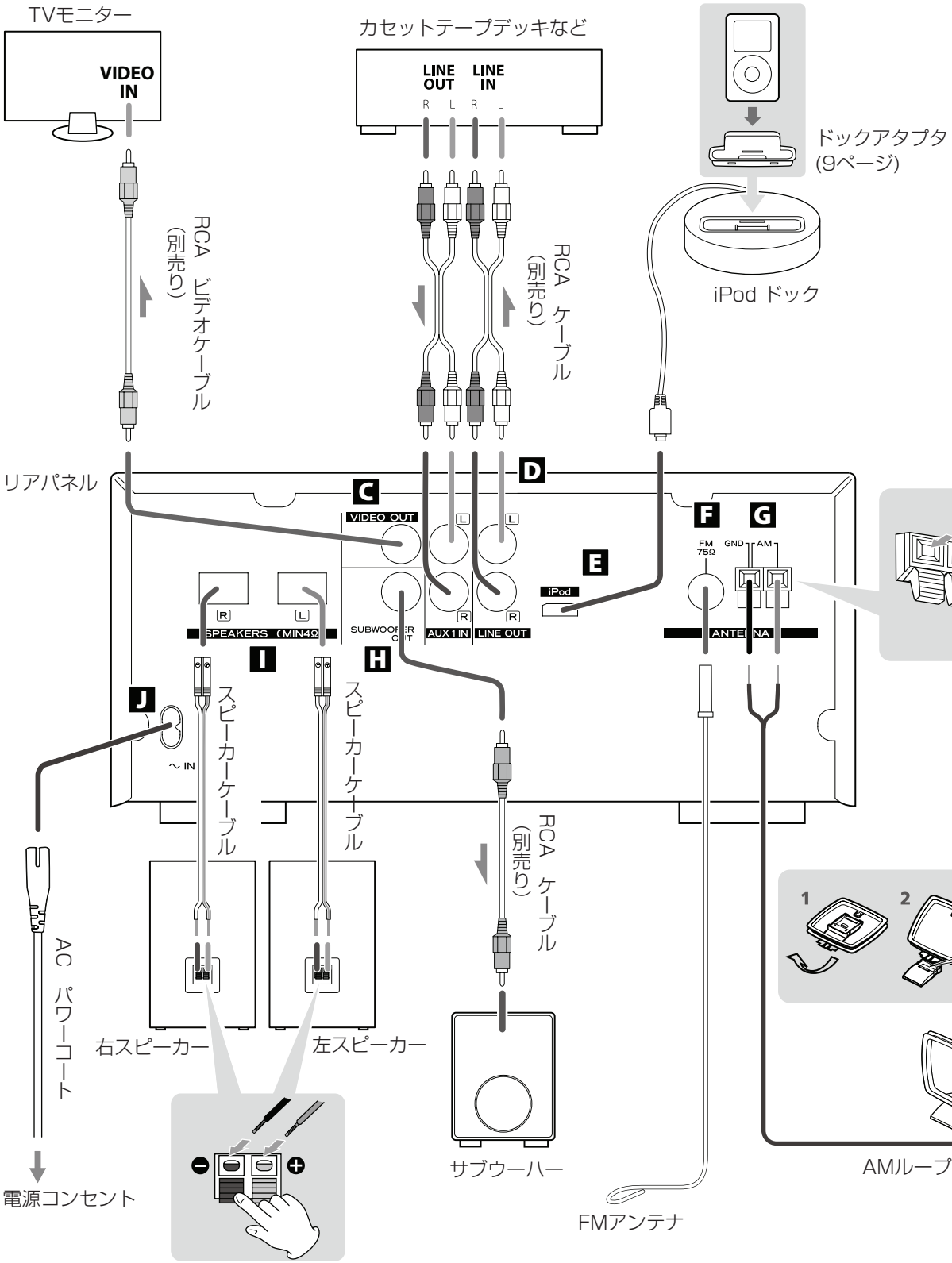
U 停止/メニュー（ ■/MENU）
ソースがiPodのとき、iPodの前のメニューに戻します。
ソースがCDまたはUSBのとき、再生を停止します。

V 音量ボタン（VOL +/-）
音量の調整に使います。

W プログラム（PROGRAM）
ソースがFM RADIOまたはAM RADIOのとき、現在の放送局をプリセットに登録します。（28ページ）
ソースがCDまたはUSBのとき、プログラム（曲/ファイル）再生に使います。

接　続


フロントパネル
USB
AUX 2 IN
A
B
ステレオミニプラグケーブル
（別売り）


TVモニター
VIDEO IN
RCA ビデオケーブル（別売り）
カセットテープデッキなど
LINE OUT
LINE IN
R L R L
RCA ケーブル（別売り）
ドックアタプタ
(9ページ)
iPod ドック
リアパネル
C
D
E
F
G
VIDEO OUT
iPod
FM 75Ω
GND
AM
SPEAKERS (MIN4Ω)
SUBWOOFER OUT
AUX 1 IN
LINE OUT
ANTENNA
I
H
J
~ IN
スピーカーケーブル
スピーカーケーブル
RCA ケーブル（別売り）
AC パワーコード
右スピーカー
左スピーカー
サブウーハー
AMループアンテナ
FMアンテナ
電源コンセント

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- 各プラグや端子はしっかりと接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

A USB 端子

USBフラッシュメモリーをこの端子に接続します。

B 音声入力端子[AUX 2 IN]

携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子とこの音声入力端子を、市販のステレオミニプラグケーブルで接続すると、本機のスピーカーで音を聴くことができます。

C 映像出力端子[VIDEO OUT]

iPodの映像信号を出力します。

1 市販のコンポジットビデオケーブルを使って、テレビやモニターの映像入力端子と接続してください。

2 リモコンのVIDEOボタンを押して映像出力機能をオンにします。ディスプレーに「VIDEO ON」と表示されます。

3 iPodをドックにセットして、ビデオ再生します。

- 映像信号を本機を通じてTVに出力した場合には、iPodのディスプレーには映像は表示されません。
  VIDEOボタンを押すと映像出力機能のオンとオフが切り換わります。初期設定はオフです。

D AUX 1/LINE OUT

アナログ2チャンネルの音声信号を入力/出力します。市販のRCAケーブルをを使って、カセットテープデッキなどに接続します。

接続方法：
白いプラグ ➜白い端子（L:左チャンネル）
赤いプラグ ➜赤い端子（R:右チャンネル）

E iPod 端子

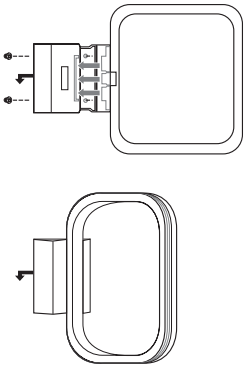
お使いiPodに合ったドックアダプタを付属のドックにセットしてから、この端子に接続し、iPodをドックに差込んでください。（9ページ）

F FMアンテナ

リードタイプのFMアンテナをFM 75Ωの端子に接続し、リード線を伸ばしてください。
受信状態が一番良い位置に調整し、画鋲などで固定してください。

G AMループアンテナ

本体右側面のAM ANTENNA端子に付属のAMループアンテナを接続します。AM放送の受信中にこのアンテナを回して、受信状態が一番良い向きに置いてください。
市販の木ネジを使って壁に固定することもできます。



H サブウーハー出力端子（SUBWOOFER OUT）

市販RCAケーブルで接続します。
アンプ内蔵のサブウーハー（電源付サブウーハー）を使います。

I スピーカー（SPEAKERS）

付属スピーカーケーブルで、付属スピーカーをSPEAKERSターミナルに接続します。

➜ 本体側の端子

左のスピーカーのプラグをLに、右のスピーカーのプラグをRに接続します。このとき⊕と⊖の表示が上側に来るようにしてください。

- 端子に無理やり差し込まないでください。差込しにくいとき、プラグの上下を確認してから、再び差込してください。
- 付属のスピーカーケーブル以外のものを端子に差込しないでください。

➜ スピーカー側の端子

レバーを押したまま、コードの端部（被覆の剥いてある部分）を差込み、レバーを離します。

接続方法：

⊕スピーカーケーブルの赤い方をスピーカーの赤の端子に接続してください。
⊖スピーカーケーブルの色のついていない方をスピーカーの黒の端子に接続してください。

- コードを軽く引っぱって、きちんと固定されていることを確かめてください。
- 端子には、被覆が剥かれている部分だけが挿入されていて、被覆が端子に当たっていないことを確認してください。

J 電源コード端子

すべての接続が終わってから、この端子に電源ケーブルをつなぎ、電源コードのもう一方の端を壁のコンセントに接続ししてください。

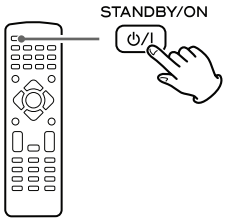
⚠ 交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

⚠ 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

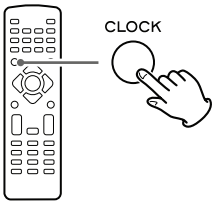
時刻あわせ

お使いになる前に、現在時刻の設定をしてください。

1 電源がオンになっている場合、電源ボタン (STANDBY/ON) を押してスタンバイにする。



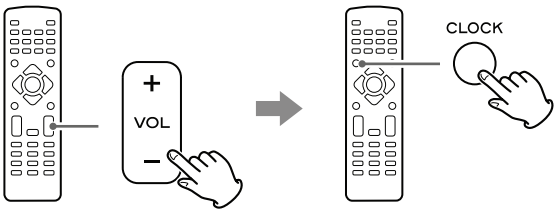
2 CLOCKボタンを押す。



ディスプレーに“CLOCK SET”を表示したあと、“12H（または24H）”表示が点 滅します。

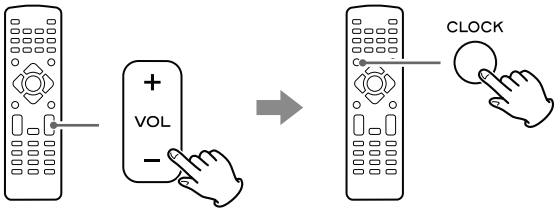
- ディスプレーに“- -:- -”が点滅しているときは再度CLOCKボタンを押してください。
- 30秒以上放置すると、タイマー設定モードが解除されます。

3 音量（+/−）ボタンを押して12時間表示または24時間表示を選択し、CLOCKボタンを押す。



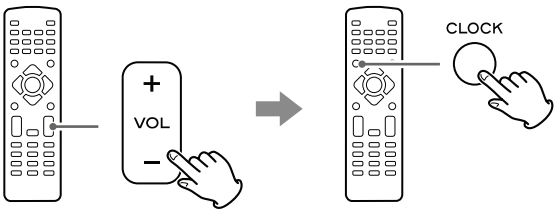
時間表示が点滅します。

4 音量（+/−）ボタンを押して現在の時間を設定し、CLOCKボタンを押す。



“分” 表示が点滅します。

5 音量（+/−）ボタンを押して現在の分を設定し、CLOCKボタンを押す。

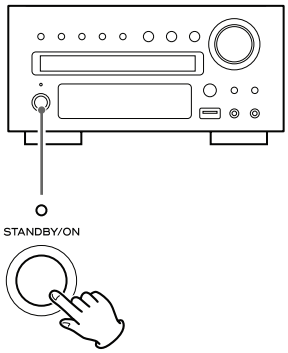


これで時計の設定が完了し、時計が00秒からスタートします。

基本操作 (1)

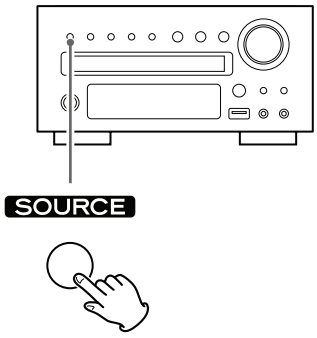
ここでは、どのソースでも共通な操作の説明をします。

1 電源ボタン(STANDBY/ON)を押して電源をオンにする。



- 最後に選択されていたソースで電源がオンになります。
- 本体のソースボタンまたは、リモコンのTUNER、DISC、iPod/USB、AUXボタンを押すことでも電源がオンになります。。

2 SOURCEボタンを押して、ソースを選択。

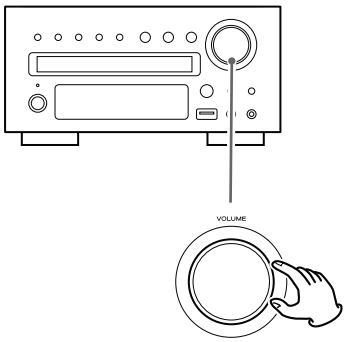


押すたびに以下のように切り換わります。

選択されたソースがディスプレーに表示されます。

- リモコンのTUNERボタンを押して、FM RADIOまたはAM RADIOの選択ができます。
- リモコンのUSB/iPodボタンを押して、iPodまたはUSBの選択ができます。
- AUDX IN端子に接続された機器を聴くには、AUX 1またはAUX 2を選んでください。
  または、リモコンのAUXボタンを使い、AUX 1またはAUX 2を選んでください。

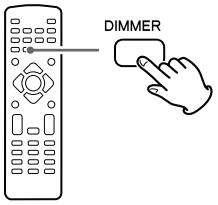
3 ソースを再生し、音量ノブ（VOLUME）を使い、音量を調節する。



リモコンのVOLUME(+/-)ボタンを使い、音量を調節します。

ディマー

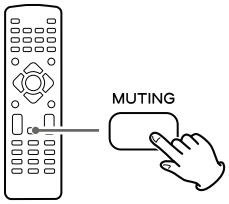
ディスプレーの明るさを調節します。



タイマーボタン（DIMMER）を押すとディスプレーが暗くなり、もう一度押すと元の明るさに戻ります。

消音

一時的に音を消します。



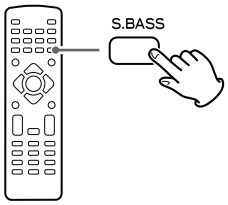
MUTINGボタンを押す。
もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ミュート中は、ディスプレーに“MUTING”が点滅します。
- ミュート中に音量またはソースボタンを押すと、ミュートは解除されます。

基本操作 (2)

低音

低音の音量を調節します。

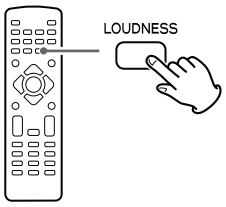


低音ボタン（S.BASS）を押す。
もう一度押すと低音の調節が解除します。

- ラウドネス機能をオンにすると、S.BASS機能はオフになります。

ラウドネス

高音と低音は小さい音量になると聞き取りにくくなります。
ラウドネス機能は聞き取りにくくなる高音と低音の音を大きくして聴覚上のロスを補います。
通常レベルの音量で聴く時にはオフに設定してください。



ラウドネス（LOUDNESS）ボタンを押す。
もう一度押すと高音の調節が解除します。

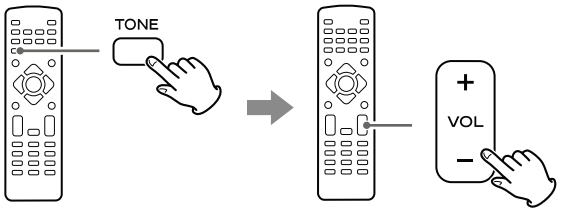
- ラウドネス（LOUDNESS）機能をオンにすると、低音と高音のレベルは自動的に”0”になります。低音と高音の音のレベルを変更するときには、ラウドネス（LOUDNESS）機能をオフにしてください。
- 低音（S.BASS）機能をオンにするとき、ラウドネス(LOUDNESS）機能はオフになります。

低音と高音の調節

それぞれ「−5」から「+5」の範囲で調節することができます。

- ラウドネス（LOUDNESS）機能がオンのときラウドネスボタン（LOUDNESS）を押してオフにします。ラウドネス（LOUDNESS）機能がオンのとき、低音と高音の音のレベルは自動的に”0”に設定されす。）

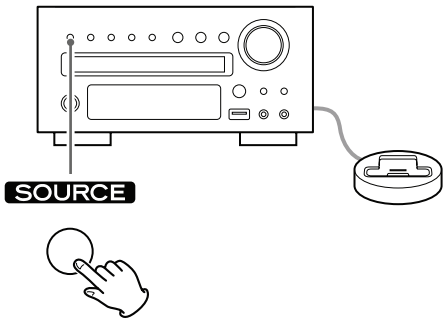
繰り返してTONEボタンを押して、低音または高音を選びます。
5秒以内に音量ボタン（VOLUME）を押して音のレベルを調節します。



数字が大きくなるにつれて低音/高音が強調されます。

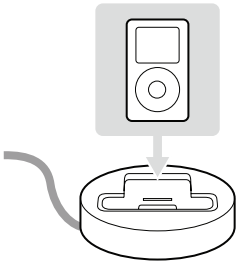
iPodを聴く（1）

1 ソースボタン(SOURCE)を押し「iPod」を選ぶ。



- リモコンでUSB/iPodボタンを押して、iPodを選ぶこともできます。

2 iPodをドックに差し込む。

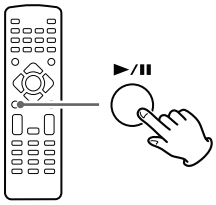


再生中のiPodを差し込んだ場合は、iPodのプレーリストから再生開始します。

一時停止中のiPodを差し込んだ場合は、再生/一時停止（►/❚❚）ボタンを押して再生を開始します。

- ヘッドホンがiPodに差し込まれている場合、本機とヘッドホンの両方から音がでます。
- iPodのビデオ信号を、本機の映像出力端子(VIDEO OUT)から、テレビやモニターに出力することができます。(14、15ページC)

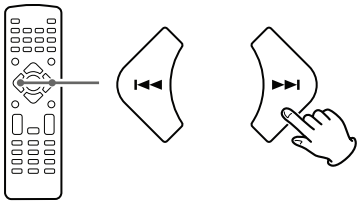
再生を一時停止する



再生中に再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと再生が一時停止します。

- 一時停止中に再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、再び再生を始めます。

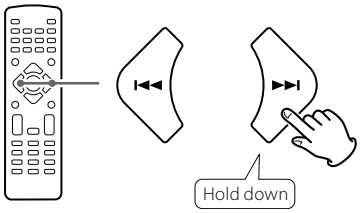
曲をスキップする



再生中にスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押すと、前または次の曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。選択された曲の頭から再生を始めます。

- 再生中は、I◄◄ を1回押すと再生中の曲の頭に戻ります。さらに前の曲を再生したいときは、I◄◄ を続けて押してください。

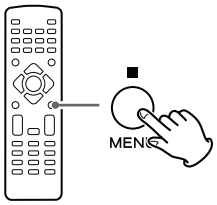
早送り/早戻しする



再生中にスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押し続けると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分で指を離してください。

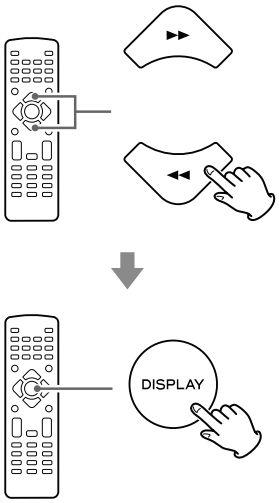
iPodを聴く (2)

iPodの前のメニューに戻る



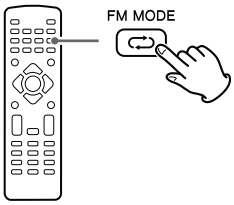
メニュー(MENU)ボタンを押すと、iPodのひとつ前のメニューを表示します。
iPodのMENUボタンと同じ機能です。

iPodのメニュー項目を選ぶ



スクロールボタン(◄◄/►►)を使って項目を選び、ディスプレーボタン(**DISPLAY**)を押してください。

リピート再生

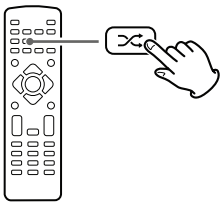


リピートボタン(🔁)を押すとリピートモードになります。
リピートボタン(🔁)を押すたびに、以下のようにiPodのリピートのモードが切り換わります。

→ 一曲リピート → 全てリピート → オフ →

- 「1曲リピート」にしたときには、iPodのディスプレーに🔂が表示されます。
- 「全てリピート」にしたときには、iPodのディスプレーに が🔁表示されます。

シャッフル再生



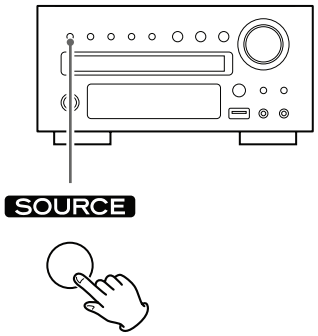
シャッフルボタン(🔀)を押すとシャッフルモードになります。
シャッフルボタン(🔀)を押すたびに、以下のようにiPodのシャッフルのモードが切り換わります。

→ 曲 → アルバム → オフ →

- シャッフルをオンにしたときには、iPodのディスプレーに🔀が表示されます。

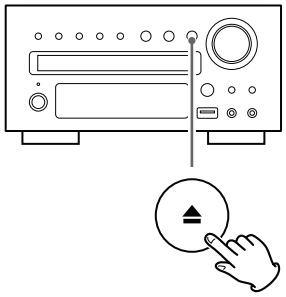
ディスクを聴く

1 ソースボタン(SOURCE)をくり返し押して、CDを選ぶ。

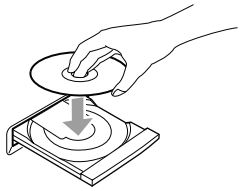


- ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」が表示されます。

2 開閉ボタン(⏏)を押してディスクトレーを開く。



3 ディスクのレーベル面を上にしてセットする。

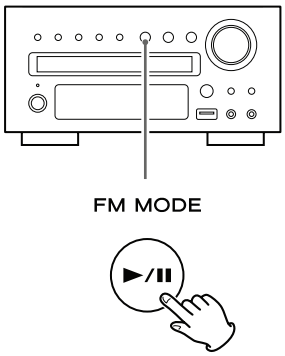


- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがあります。ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

4 開閉ボタン(⏏)を再び押してトレーを閉じる。
トレーが閉じます。
ディスクによっては、自動で再生を開始するものもあります。

- 指をトレーに挟まないように注意してください。
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。

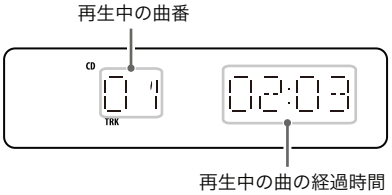
5 自動的に再生しないとき、再生/一時停止ボタン（►/II）を押して再生を始める。



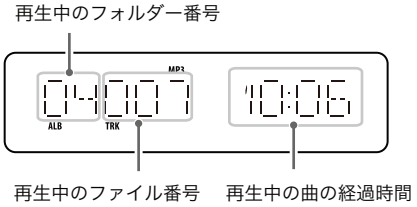
- フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に「01(root)」フォルダーに入れられます。再生は「01(root)」フォルダーの1曲目から始まります。
- 全ての曲の再生が終わると、停止します。

再生中のディスプレー表示(例)

オーディオCDの場合

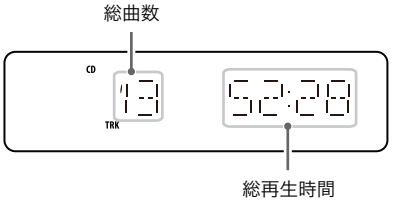


MP3/WMAディスクの場合

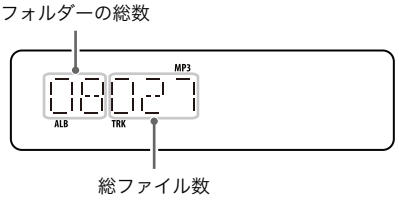


再生停止のディスプレー表示(例)

オーディオCDの場合



MP3/WMAディスクの場合

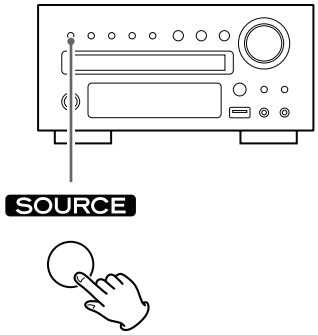


USBメモリーを聴く

大容量のHDDを使用しないでください。本機ではUSBフラッシュメモリーのみが使えます。

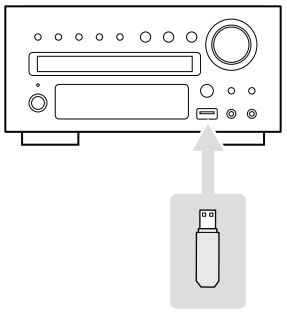
- USBについては「USB機器について」（10ページ）を参照してください。

1 ソースボタン(SOURCE)を押して「USB」を選ぶ。



- USBメモリーがセットされていないときは、ディスプレーに「NO USB」と表示されます。

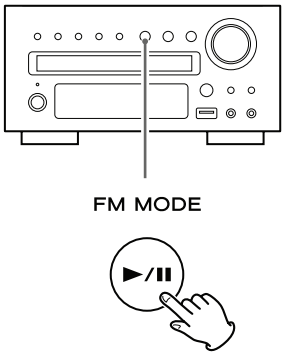
2 USB端子にUSBメモリーを接続する。



ファイルによっては自動的に再生を開始します。

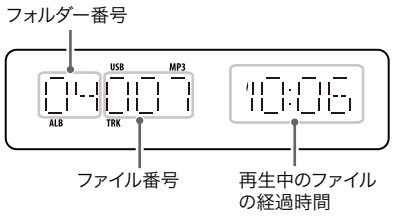
- USBメモリーの読込みには、数秒かかります。
- **1**と**2**の手順を逆にすることもできます。

3 再生/一時停止ボタン(►/II)を押して、再生を始める。

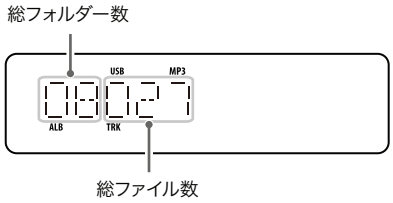


- フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に「01(root)」フォルダーに入れられます。再生は「01(root)」フォルダーの1曲目から始まります。

再生中のディスプレー表示(例)

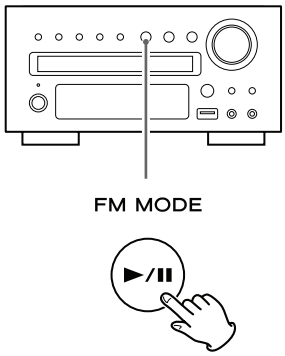


停止中のディスプレー表示(例)



CDまたはUSBメモリーを再生するには

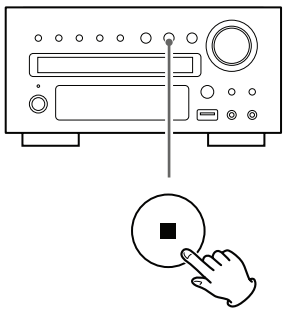
再生を一時的に停止する（一時停止モード）



再生中に再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと再生が一時停止します。

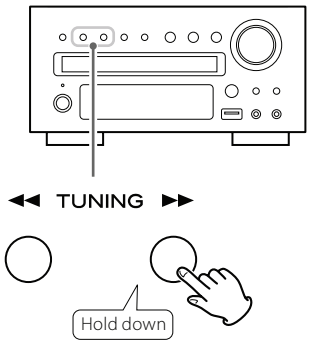
- 一時停止中に再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、再び再生を始めます。

再生停止



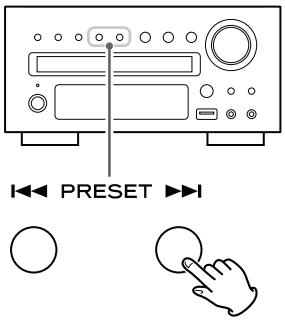
停止ボタン（■）を押す。

トラック/ファイルを早送り/早戻しする



再生中にサーチボタン(◄◄/►►)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分で指をはなしてください。

トラック/ファイルをスキップする

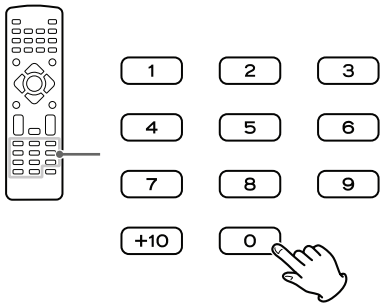


再生中にスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押すと、前または次のトラック/ファイルにスキップして再生を始めます。希望するトラック/ファイルになるまで、続けて押してください。選択されたトラック/ファイルの頭から再生を始めます。

- プログラム再生中のとき、前または次のトラック/ファイルを再生されます。

ダイレクト再生

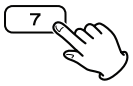
停止または再生中に、リモコンの数字ボタンを使い、ダイレクトにトラック/ファイルを選びます。



数字ボタンを押し、ダイレクトにトラック/ファイルを選びます。選定されたトラック/ファイルの頭から再生します。

例：

7番のトラック/ファイルを再生する



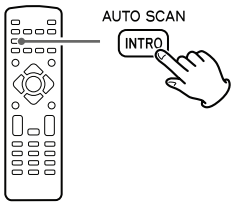
23番のトラック/ファイルを再生する

- ダイレクト再生はシャッフルとプログラムの再生中に操作できません。
- MP3/WMAファイル番号の順番は、ファイルまたはフォルダーの追加、削除または移動のため、変更されることがあります

CDまたはUSBメモリーを再生するには

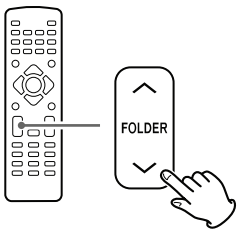
イントロ再生

各トラック/ファイルの先頭を10秒ずつ次々と再生します。



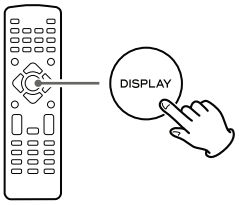
イントロボタン（INTRO)を押し、イントロ再生をスタートします。
ディスプレーに「INTRO ON」が表示されます。
再生中のトラック/ファイルを続けて聴くとき、再びINTROボタンを押してください。ディスプレーに「INTRO OFF」が表示されます。

フォルダーを選ぶ (MP3/WMAディスクまたはUSBメモリー)



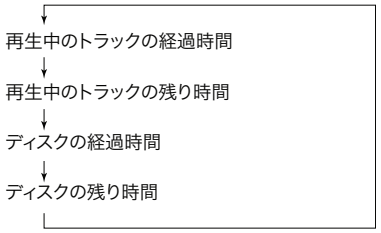
FOLDER（へ/﹀）ボタンを押して、前または次のフォルダーにスキップします。

CD/USBの情報表示



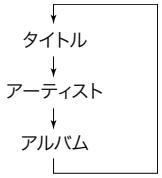
オーディオCDの場合

再生中にディスプレーボタン(DISPLAY)を押すたびに、以下のように表示されます。



MP3/WMAファイルの場合

再生中にディスプレーボタン(DISPLAY)を押すと、以下のファイル情報がスクロール表示されます。

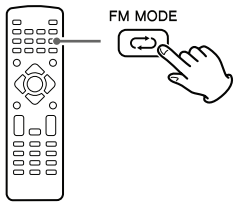


- タイトル/アーティスト/アルバムの最初の30文字が表示されます。
- 本機のディスプレーでは1バイトの半角英数字以外は正しく表示できません。2バイト文字(日本語・中国語・韓国語など)や、半角カタカナなどの英数字以外の1バイト文字が使われいる場合、再生は可能ですがディスプレーには正しく表示されません。
- 該当する情報がないときは、「NO ID3」が表示されます。

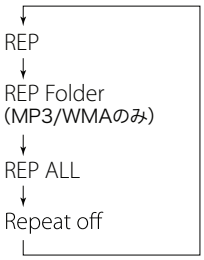
CD/USB リピート/シャッフル再生

リピート再生

現在の曲またはディスクを繰り返し再生します。MP3/WAVの場合はフォルダー内の繰り返しも可能です。



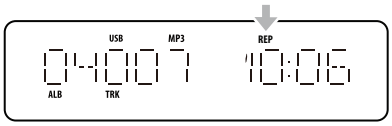
リピートボタン(⟲)を押すたびに、以下のようにリピートのモードが切り換わります。



REP (1曲リピート)

ディスプレーに「REP」と表示され、再生中の曲が繰返し再生されます。

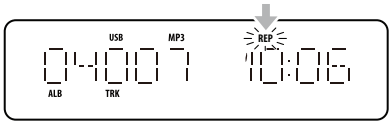
例：



REP Folder (フォルダーリピート) (MP3/WMAのみ)

ディスプレーに「REP」表示が点滅し、選択中のフォルダーの曲が繰返し再生されます。

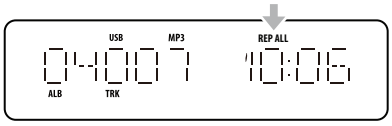
例：



REP ALL (全曲リピート)

ディスプレーに「REP ALL」と表示され、全曲が繰返し再生されます。

例：

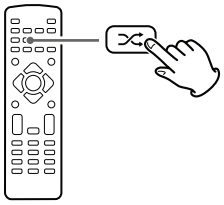


- 以下のボタンを押すとリピート再生は解除されます。

  STANDBY/ON、Open/Close(⏏)、SOURCE

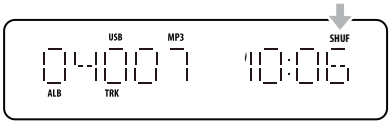
- リピート機能をオンにすると、シャッフル機能が自動的にオフに設定されます。

シャッフル再生



シャッフルボタン(⤮)を押すと、ディスプレーに「SHUF」と表示され、トラック/ファイルがランダムに再生されます。

例：

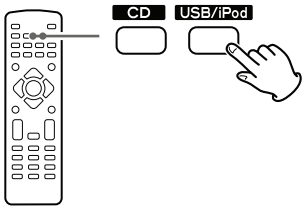


- シャッフル再生をやめるには、もう一度シャッフルボタン(⤮)を押します。
- シャッフル再生を停止するため、停止ボタン（■）を押してください。この操作をするとシャッフル再生モードも解除されます。
- シャッフル再生中に⏭ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されて再生します。
- ランダム再生中に.ボタンを押すと、再生中のトラック/ファイルが先頭から再生されます。
- シャッフル再生中に、一度再生されたトラック/ファイルは再生されません。
- シャッフル機能をオンにすると、リピート機能は自動的にオフになります。

CD/USBのプログラム再生

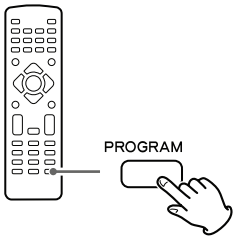
再生したい順番に20トラック/ファイルまでプログラムすることができます。

1 ソースボタン(SOURCE)を押して「CD」または「USB」を選ぶ。



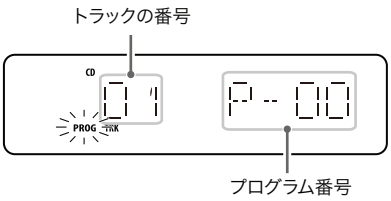
再生が開始された場合は、停止ボタン（■）を押して、再生を停止します。

2 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。

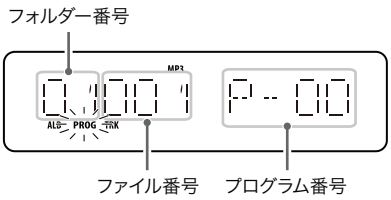


ディスプレーに「PROG」の表示が点滅します。

オーディオCDの場合：

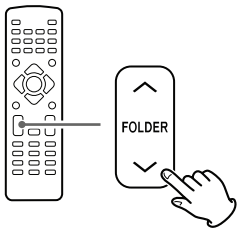


MP3/WMAファイルの場合：



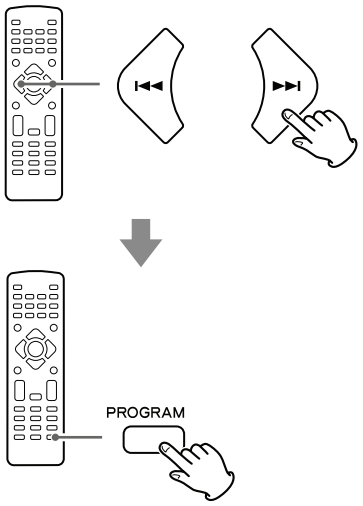
- プログラムを中止するには、停止ボタン(■)を押します。
- 15秒以内に操作されないときは、プログラムモードが解除されます。

3 MP3/WMAファイルの場合は、フォルダーボタン(∨/∧)を押して、フォルダーを選ぶ。



- フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に「01(root)」フォルダーに入れられます。

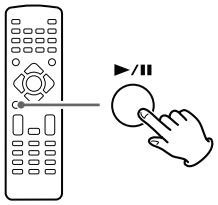
4 スキップボタン(I◄◄/►►I)を押してトラック/ファイルを選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。



選択したトラック/ファイルがプログラムされ、プログラム番号「P-01」が表示されます。

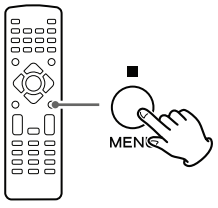
- 複数のトラック/ファイルをプログラムするには、**3** ～ **4** の手順を繰り返してください。

5 プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン(►/II)を押してプログラム再生を始める。



- プログラム再生が全て終了するか、または途中で停止したときに、再びプログラム再生をするには、再生/一時停止ボタン(►/II)を押してください。
- プログラム再生中にスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押して、プログラム中の他のトラック/ファイルを選ぶことができます。
- プログラム再生中には、数字ボタンによるダイレクト再生は使用できません。

プログラム内容の消去

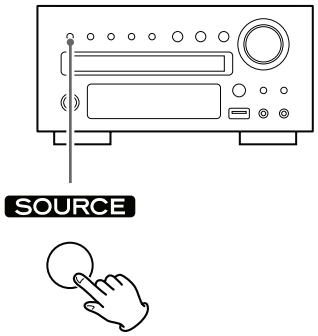


停止中に、停止ボタン(■)を押す。
ディスプレーに「PROG」の表示が消えます。

- 以下の場合は、全てのプログラム内容が消去されます。
  ソースの変更
  電源ボタン(STANDBY/ON)を押す
  ディスクを取出し、またはUSBメモリーを外す
  電源コードが抜かれる

ラジオを聴く

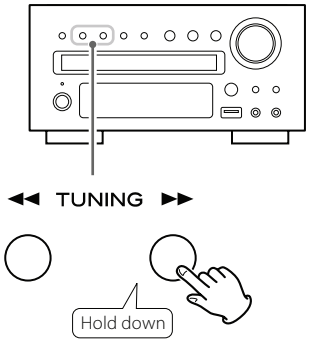
1 **ソースボタン(SOURCE)を押して「FM RADIO」または「AM RADIO」を選ぶ。**



- リモコンの選局ボタン(TUNER)を押して「FM RADIO」または「AM RADIO」を選ぶことができます。

2 **選局する。**

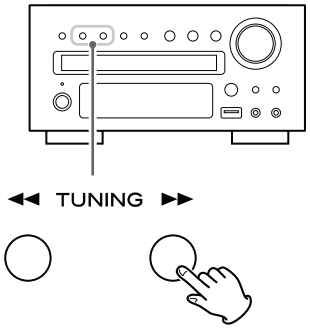
自動選局



選局ボタンを(◄◄/►►)1秒以上押し続けて、自動選局が始まったら指をはなしてください。
放送局を受信すると自動的に止まります。
聴きたい放送局が見つかるまで繰り返してください。

- 自動選局を停止するには、選局ボタンを軽く押します。

マニュアル選局

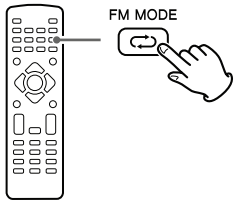


選局ボタンTUNING（◄◄/►►）を押すと、一定のステップで周波数が変わります。
聴きたい放送局が見つかるまで繰り返し押してください。

受信状態が悪いときは

受信状態が悪いときは、FM/AMアンテナの向きを変えたりして、最も良く受信できる位置を探してください。

ステレオ/モノラルの切換え



FMモードボタン(FM MODE)を押すと、FM放送のステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。

オートモード

ディスプレーに「AUTO MODE」が表示されます。
ステレオ放送受信中は、ステレオで聴こえます。

モノラルモード

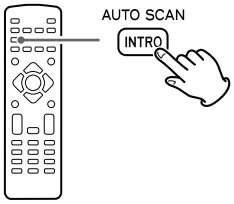
ステレオ放送の受信状態が悪いときはこのモードを選んでください。音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。
ディスプレーに「MONO MODE」と表示されます。

放送局のプリセット

よく聴く局を、FM20局、AM20局まで、あらかじめ登録(プリセット)しておくことができます。

自動プリセット(オートスキャン)

ソースが「FM RADIO」または「AM RADIO」のとき、オートスキャンボタン(AUTO SCAN)を押す。

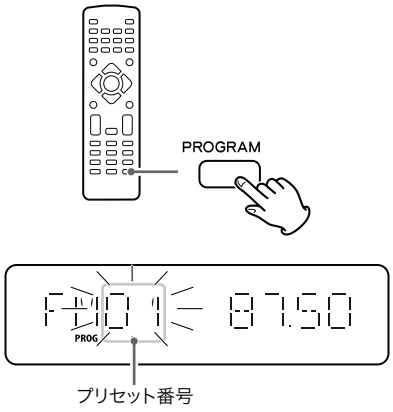


受信可能な放送局を、最大20局（AM/FMとも）までプリセットします。

マニュアルプリセット

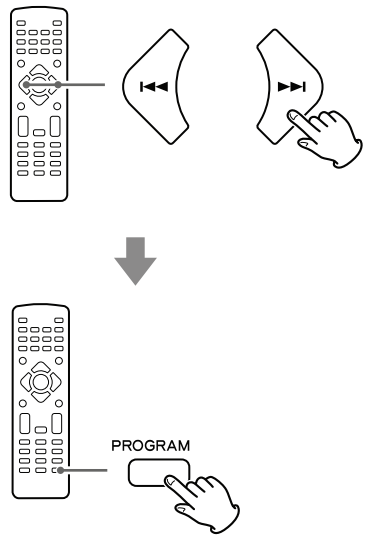
1 選局する。

2 プログラムボタン(PROGRAM)を押す。



ディスプレーにプリセット番号と「PROG」の表示が点滅します

3 ３０秒以内に、プリセットボタン(I◄◄ / ►►I)を使い、プリセット放送局を登録し、再び、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。

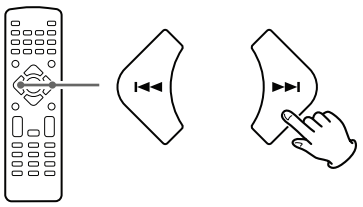


放送局が登録されます。

- 他の放送局をさらに登録するときは、１から３ の手順を繰り返してください

登録した放送局を聴くには

ソースが「FM RADIO」または「AM RADIO」のとき、聴きたい放送局になるまでプリセットボタン(I◄◄ / ►►I)を繰返し押します。



接続した機器の音を聴く

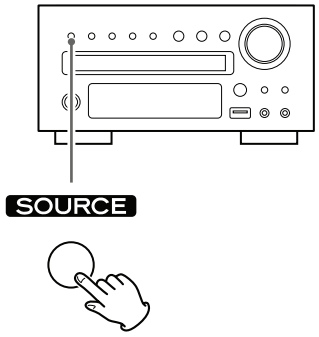
携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子と接続して、本機で音声を再生します。

1 カセットテープデッキなどと接続する
本機の音声入力端子（AUX 1 IN）とカセットテープデッキなどを市販のRCAケーブルで接続する。
(ページ 14, 15 D)

接続方法：
白のピンプラグ ➡ 白の(L)端子
赤のピンプラグ ➡ 赤の(R)端子

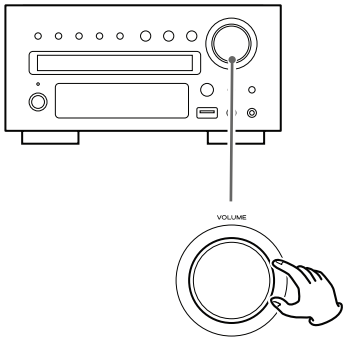
携帯型オーディオプレーヤーと接続する
別売りのステレオミニケーブルを使って、携帯型オーディオプレーヤーのヘッドホン端子(または音声出力端子)とAUX 2 IN端子接続する。(ページ 14, 15 B)

2 ソースボタン(SOURCE)を押して「AUX 1」または「AUX 2」を選ぶ。



- リモコンのAUXボタンを使って「AUX 1」または「AUX 2」を選ぶことができます

3 接続した機器の再生を始め、音量ノブ（VOLUME）を使って本機と接続した機器の両方で音量を調節する。

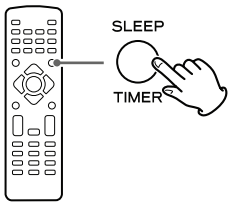


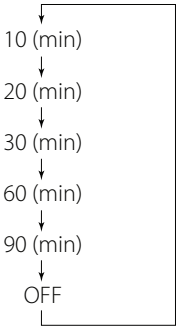
- プレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量を調節しないと、本機から音が聴こえないことがあります。
- プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。
- ソースが「AUX 1」または「AUX 2」になっているとき、電源ボタン（STANDBY/ON）を押して本機をスタンバイにする場合は、接続されたサブウーハーからの音を停止するまで数秒間がかかります。

お休みタイマー

一定の時間経過後に電源をスタンバイにします。

スリープボタン(SLEEP)を押すたびに、スタンバイになる時間が変わります。



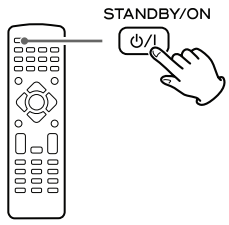


- お休みタイマーを解除するには「OFF」を選びます。
- おやすみタイマーが作動している間は、ディスプレーが暗くなります。
- 設定したあとにスリープボタン(SLEEP)を1回押すと、電源がスタンバイになるまでの残り時間が数秒間表示されます。
- どのソースでも設定できます。

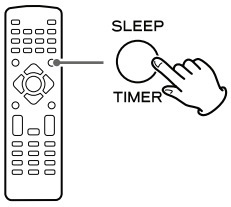
目覚ましタイマー

設定した時間になると電源がオンになるように、目覚ましタイマーを設定できます。

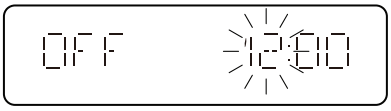
1 本機がオンになっている場合は、電源ボタン（STANDBY/ON）を押してスタンバイにする。



2 タイマーボタン（TIMER）を押して目覚ましタイマーモードに入る。

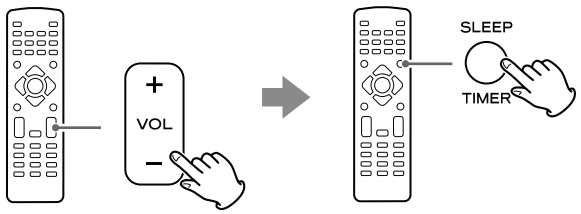


ディスプレーに「TIMER SET」と数秒間表示した後、「時」表示が点滅します。



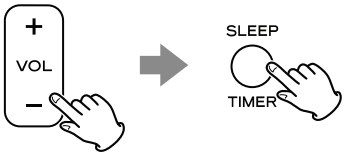
- 30秒以上放置すると、目覚ましタイマー設定は解除されます。
- 目覚ましタイマーを設定する前に、現在時刻を設定してください。(16ページ)

3 音量ボタンを使ってオン時間の「時」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。

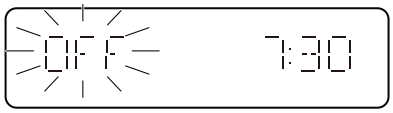


「分」表示が点滅します。

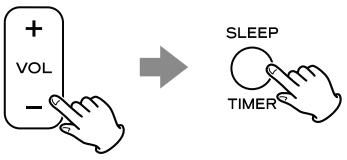
4 音量ボタンを使ってオン時間の「分」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。



「OFF」表示が点滅します。



5 目覚ましタイマー機能を使う場合は、音量ボタンを押して「ON」を選んでタイマーボタン(TIMER)を押す。



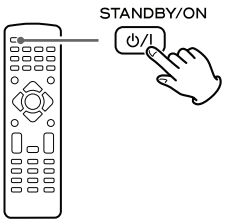
ディスプレーに現在時刻とインジケータ ◴ が点滅します。

- 目覚ましタイマー機能を使用しないときには、「OFF」を選びます。

6 電源をオンにし、再生するオーディオソースを準備する。

iPodを再生するには
➡ SOURCEボタンで「iPod」を選び、ドックにiPodを差し込んでください。
CDを再生するには
➡ SOURCEボタンで「CD」を選び、ディスクをセットしてください。
USBを再生するには
➡ 「USB」を選んだ場合は、USB端子にUSBメモリーを接続してください。
FMラジオまたはAMラジオを聴くには
➡ 「FM RADIO」または「AM RADIO」を選び、聴きたい放送局を選局してください。

7 電源ボタン（STANDBY/ON）を押してスタンバイにする。



毎日に設定した時間になると電源がオンになります。

本機の電源がスタンバイにしないと、目覚ましタイマー機能がしません。

目覚ましタイマーが電源オンの時間になると、本体が自動的に「SLEEP 60」に設定し、60分後に本体がスタンバイになります。
続けて聴きたい場合は、電源オンになってから「SLEEP OFF」になるまでスリープボタン（SLEEP）を繰り返し押してください。

- 目覚ましタイマーが電源オンの時間になると、本体が最後に選択されたソースを再生します。
- 目覚ましタイマーをオフにするときには、ステップ **5** で「OFF」を選びます。ディスプレーの ◴ 表示が消えます。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

一般

電源が入らない

➡電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。電源のコンセントが切り替えスイッチ付きの場合には、必ずオンにしてください。
➡電源ボタン（ STANDBY/ON）を押して本体がオンにしてください。

リモコンで操作できない。

➡電源ボタン（ STANDBY/ON）を押して本体をオンにしてください。
➡電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
➡リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
➡本体の近くに強い光を発生する照明がある場合は、照明を切ってください。

雑音がする。

➡テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。
➡コードとスピーカーケーブルは電源とできるだけ離してください。

iPod

iPodを本体にセットできない。

➡お使いのiPodに合ったドックアダプタを本体にセットしてください。
➡本体とiPodのコネクタ部分からほこりやゴミを取り除いてください。

再生できない。

➡iPodをいったん本体から外し、数秒経ってからもう一度セットしてみてください。
➡最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

操作できない。

➡iPodのホールドスイッチを解除してください。

接続されたTVにiPodの映像信号を出力できない。

➡リモコンの映像出力ボタン（VIDEO）を押して映像出力機能をオンにしてください。
➡iPod本体にTV出力オプションがある場合は、「Yes」または「Ask」に設定してください。
(iPodメインメニュー → ビデオ → 設定 → TV出力)

CD/USB

再生しない。

➡レーベル面を上にしていれてください
➡再生できるディスクを使用してください。
➡ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音済みのディスクを入れてください。
➡本体が結露した場合は、電源をオンにしたまま1時 間から2時間ぐらい放置してください。
➡ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。また、傷が付いたディスクは使わないでください。再生できない。
➡ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは再生できません。CD書き込んだCDレコーダーなどでファイナライズしてから再生してください。

音飛びがする。

➡震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡キズ、損傷または変形したディスクを使用しないでください。

MP3/WMAファイル

再生できない。

➡ファイルの拡張子を確認してください。MP3ファイルの認識はファイル拡張子「.mp3」、WMAファイルの認識はファイル拡張子「.wma」で行います。
➡MP3/WMAファイルが破損している可能性があります。
➡ファイルのフォーマットを確認してください。本機で再生できるのは、MP3/WMAファイルです。
➡本機で対応できるMP3/WMAファイルの詳細については、10ページをご覧ください。

正しく表示されない文字がある。

➡ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い。

➡放送局を選局してください。
➡FM/AMアンテナと本体の位置や向きを変えてみてください。

FMで、ステレオ放送なのにモノラルになる。

➡FMモードボタン(FM MODE)を押して、ステレオ受信に切り換えてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

仕　様

CDプレーヤー部
周波数特性.....20 to 20,000 Hz (±3 dB)
全高調波歪率.....0.5 % (1 kHz, 0 dB)

アンプ部
出力パワー
ステレオ EIAJ,
20 Hz to 20 kHz, 4 Ω).....50 W + 50 W
ステレオ 1 % THD,
20 Hz to 20 kHz, 4 Ω).....36 W + 36 W

総合高調波歪率 ..... 0.7 % (at 5 W, 1 kHz, 4 Ω)
オーディオ入力感度/
インピーダンス.....LINE: 600 mV/47 kΩ
出力レベル/
インピーダンス(LINE OUT)..... 1000 mV / 10 kΩ
受信周波数.....20 Hz to 20 kHz, +0 / –3 dB
S/N比 .....60 dB (IHF-A)

FMチューナー部
受信範囲..... 76 - 90MHz (100kHz ステップ)
総合高調波歪率(1kHz) .....Mono: 1 %
Stereo: 1.5 %
受信周波数..... 40 Hz to 10 kHz
ステレオセパレーション(1kHz).....35 dB
S/N比 ..... Mono: 55 dB
Stereo: 45 dB

AMチューナー部
受信範囲.....522 kHz to 1,629 kHz (9 kHz ステップ)
総合高調波歪率(1kHz) ..... 1.5 % at 100 dB/m
実用感度.....900 μV/m
S/N比 .....40 dB at 100 dB/m

DC電源出力
USB端子.....5V, 500 mA max
iPodドック.....5 V, 1 A max

一般
電源.....AC 100V, 50-60Hz
消費電力.....50 W (スタンバイ時 1 W)
外形寸法(W x H x D) ..... 214 x 106 x 347 mm
質量（本体） .....4 kg

付属品
電源コード × 1
リモコン(RC-1281) × 1
(リモコン用コイン型リチウム電池(CR2025) × 1付き)
スピーカー × 2
スピーカーケーブル × 2
iPod ドッグ × 1
ドックアダプタ × 2
AMループアンテナ × 1
FMアンテナ × 1
取扱説明書(保証書付き) × 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■ 保証書

この製品の保証書は、本書の裏表紙に記載されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

31ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CD レシーバー TC-X350i
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■ 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

保 証 書

型　名	CDレシーバー TC-X350i	
シリアル	No.	
保証期間	本　体	お買上げから 1 年

お買上げ日		年　月　日
お　客　様	お名前	
	ご住所	電話　（　）

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載の弊社サービス部門またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	所在地・名称(印) 電話　（　）

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。
3. ご転居等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社サービス部門にお問い合わせください。

ティアック株式会社　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

この製品に関するお問い合わせは
AVお客様相談室までご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室
市内通話料でOK ナビダイヤル
0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

● ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。

故障・修理や保守についてのお問い合わせは
ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30～17:00です。

ティアック修理センター
市内通話料でOK ナビダイヤル
0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033/FAX：04-2901-1036

● 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1012·MA-1768C